

# 「つやまげんぼ塾」7月アンケート

H27.7.27

## 学びたいこと

- ・授業での子どものつなげ方、生かし方。国語授業のイメージづくり。

## ご意見・ご感想

- ・モノ作りでは、子どもの気持ちになって体験することができ、教材研究をしっかりとすることで、子どもの授業に対する意欲が全く変わるのだろうと実感した。また、夏季休業中にできることを書き出していくことで、自分の考えなどがすごくまとまった。もう一度初心に戻って、精一杯励もうと心から思った。
- ・生活科のトンボは、作ってみて、私もいろいろな気づきがあって、子どもたちともしてみたいと思った。夏休み、今しかできないことを考えて、1学期の自分を振り返れたし、他のことも振り返るきっかけになったので、2学期に向けて頑張っていこうと思った。
- ・生活科の指導について、ポイントを分かりやすく教えてもらえた。1学期を振り返り、夏休みの目標を考えることで、頭がハッキリした。
- ・夏休みに入り、ゆるんでいた気持ちがおだやかに、参加できてよかった。学校でも、ゆっくり1学期の実践を振り返ることもなかなかできないので、とてもよい機会でありがたかった。生活科のものづくりは、ただ作って終わりではなく、根底にある気づきを大切にできるよう、2学期からも実践していきたい。楽しく勉強できました。
- ・比較的時間のある夏休みに、勉強したり話を聞いたりして、2学期の始めに、うまくスタートできるようにしたい。1学期は、子どもと遊んだことでつながりができたので、そのつながりを授業や学級経営に活かしていきたい。
- ・生活科の研修では、紙とんぼ作りを体験しながら、子どもの気づきを大切にする授業のイメージが持ててよかった。2学期に向けての研修では、他の先生方の考えを聞いて、自分に足りなかった視点に気づくことができた。記憶が新しいうちに、まとめておきたいと思う。
- ・紙とんぼを作ってみたい。今回の紙とんぼ作りの視点を、他の場面でも生かしていきたい。2学期のリスタートに向けて、いろいろと計画をしている。それを実践で活かせるように夏を過ごしたい。
- ・自分で考える授業は、なんて楽しいんだろうと思った。2学期に向けて、夏休み中にできること、少しでも時間をとって研修を生かして、学びます。